

愛媛県宇和島市岩松川下流域で得られたハマガニ

高木基裕¹・田村裕子²・田村菖悟²¹愛媛大学南予水産研究センター ²宇和島市写真1 *Chasmagnathus convexus* ハマガニ
(EF16229-16234)

写真2 掌部および長節内側面 (写真1と同一個体)

種の記録

Varunidae モクズガニ科

Chasmagnathus convexus (De Haan, 1833)

ハマガニ (写真1)

標本 愛媛大学沿岸科学研究センター生物試料 (EF16229-16234)。採集年月日:2023年10月6日。採集場所:愛媛県宇和島市岩松川下流域 (33.1208N, 132.5215 E)。採集方法:タモ網。6個体 (♀4, ♂2), 甲長 22.4-29.2mm。

種の特徴

採集個体はいずれも、甲の各域は明らかに区別でき、正中には深い溝がある。前側縁には眼孔外歯と3個の大歯がある。鉗脚は強大で長節内側面は幅広く、背腹両縁が隆起し隆起陵に小歯が列生する。掌部は上下に幅広く、上縁基半部に小歯が列生する (写真2)。

備考

愛媛県において本種は瀬戸内海側の各所から報告されているが (例えば合田ほか, 2006; 新居浜市環境部環境保全課, 2012; 光澤ほか, 2016), 宇和海側では御荘湾など一部に限られる (山本ほか, 2007)。本種は愛媛県では準絶滅危惧種 (NT) に指定されており (愛媛県, 2014), 広域的な生息状況の把握が重要であることから, これまで公式な記録のなかった生息地での記録として, 採集標本に基づき

報告する。

引用文献

- 愛媛県. 2014. ハマガニ. 愛媛県レッドデータブック 2014. (<https://www.pref.ehime.jp/reddatabook2014/top.html>. 2023年10月10日参照)
- 合田幸子・大森浩二・柳沢康信. 2006. アシハラガニおよびハマガニにおける巣穴外活動の季節変化と日周変化. 日本ベントス学会誌, 61:26-39.
- 光澤安衣子・和田太一・和田悠介. 2016. 愛媛県西条市加茂川河口干潟における底生生物相. 愛媛県総合科学博物館研究報告, (20): 1-15.
- 新居浜市環境部環境保全課. 2012. 新居浜の海辺の生き物. 33pp.
- 山本藍子・水野晃秀・町田吉彦. 2007. 愛媛県愛南町の干潟で確認されたクシテガニ (カニ下目ベンケイガニ科). 四国自然史科学研究, 4: 62-64.

(2023年10月12日受付, 2023年11月6日公開)

連絡先: 高木基裕 (e-mail: takagi.motohiro.mc@ehime-u.ac.jp)(Motohiro Takagi, Yuko Tamura and Shogo Tamuta. 2023. Record of *Chasmagnathus convexus* (Varunidae) from Iwamatsu River, Uwajima City, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 23018)